

専門校関連事業所向け

調 査 票

各質問項目について該当するものに○印、または御意見を御記入ください。

【事業所の名称・御連絡先】

事業所の名称		
担当者の部署・氏名	(部署)	(氏名)
連絡先	電話番号 ()	—

※ 回答の記入漏れ等があった場合にのみ御連絡させていただくためのものであり、その他の目的に使用することはありません。

問1 貴事業所についてお尋ねします。

(1) 貴事業所の所在地はどちらですか。ひとつだけお選びください。

1. 県北 (延岡市、日向市、東臼杵郡、西臼杵郡)
2. 県央 (宮崎市、西都市、東諸県郡、児湯郡)
3. 県西 (都城市、小林市、えびの市、北諸県郡、西諸県郡)
4. 県南 (日南市、串間市)

(2) 貴事業所の常用労働者(従業員数)は何人ですか。ひとつだけお選びください。

- | | | |
|-----------|-----------|-----------|
| 1. 1～9人 | 2. 10～29人 | 3. 30～49人 |
| 4. 50～99人 | 5. 100人以上 | |

(注) 「常用労働者」とは常時雇用されている人で、期間を定めずに雇用されている人もしくは1か月を超える期間を定めて雇用されている人、臨時又は日雇労働者で、調査日前の2か月の各月にそれぞれ18日以上雇われている人をいいます。

問2 貴事業所の求める人材についてお尋ねします。

(1) 貴事業所では、若年従業員(30歳未満)にどのような能力を求めますか。次の中から該当するものを上位3つまで選び、回答欄に番号を記入してください。

～ 若年従業員(30歳未満) ～

- | | |
|--------------------|----------|
| 1. 技能・技術 | 2. 資格の有無 |
| 3. 就業意識・目的意識 | 4. 熱意・意欲 |
| 5. 常識・マナー | 6. 学歴 |
| 7. 人物・人柄 | 8. 健康・体力 |
| 9. その他
(具体的に:) | |

(回答欄)

1 位	2 位	3 位

(2) 貴事業所が求める人材には、どのような能力が必要だと思いますか。次の中から該当するものを上位3つまで選び、回答欄に番号を記入してください。

- | | |
|----------------|----------------|
| 1. 基礎的な技能・技術 | 2. 高度な技能・技術 |
| 3. 販売・営業力 | 4. 創造力 |
| 5. 交渉能力 | 6. 忍耐力・継続力 |
| 7. 適応力・柔軟性 | 8. コミュニケーション能力 |
| 9. 語学力 | 10. ITソフト活用能力 |
| 11. 考察力・論理的思考力 | |
| 12. その他 () | |

(回答欄)

1 位	2 位	3 位

問3 貴事業所における技能継承に向けた取組についてお尋ねします。

(1) 技能・技術の次世代への継承において問題がありますか。ひとつだけお選びください。

- | | | |
|-------|-------------------|---------------|
| 1. ある | 2. どちらかと言えばある | 3. どちらかと言えばない |
| 4. ない | 5. 今はないが5年以内に発生する | 6. どちらともいえない |

(2) 技能継承への対応としてどのような取組を行っていますか。(複数回答可)

- | |
|---|
| 1. 退職者の雇用の延長(定年延長)、嘱託等での再雇用、指導者としての活用
2. 新規学卒者の増員
3. 中途採用者の増員
4. 非正規社員、派遣労働者、請負業者等の活用
5. 若年・中堅社員に対する技能・ノウハウ等の伝承
6. 伝承すべき技能・ノウハウの文書化、マニュアル化
7. その他 ()
8. 特段何の取組も行っていない |
|---|

問4 県立産業技術専門校(以下、「専門校」)及び同高鍋校(以下、「高鍋校」)についてお尋ねします。

- | | |
|---|---|
| ① 「県立産業技術専門校」は、西都市にある中核的技術者を育成する公共職業能力開発施設で、高卒者等を対象とした職業訓練を行う施設。訓練期間は2年間で、木造建築科、構造物鉄工科、電気設備科、建築設備科の4科がある。 |  |
| ② 「県立産業技術専門校高鍋校」は、高鍋町にある中卒者や知的障がい者等を対象とした職業訓練を行う施設。建築科、塗装科、販売実務科(知的障がい者向け)の3科がある。 |  |

(1) 貴事業所では、専門校または高鍋校(販売実務科を除く)の修了生を採用したことがありますか。ひとつだけお選びください。

- | | |
|-------|--------------|
| 1. ある | → (2)にお進み下さい |
| 2. ない | → 問5にお進み下さい |

(2) どの訓練科の修了生を採用しましたか。(複数回答可)

- | | | | | |
|-------|----------|-----------|----------|----------|
| 【専門校】 | 1. 木造建築科 | 2. 構造物鉄工科 | 3. 電気設備科 | 4. 建築設備科 |
| 【高鍋校】 | 5. 建築科 | 6. 塗装科 | | |

※専門校修了生を採用したことがある(上記1～4を選択した)事業所

→ (3)～(5)にお進みください

※高鍋校修了生を採用したことがある(上記5、6を選択した)事業所

→ (6)～(7)にお進みください

【専門校修了生関連】

※（３）から（５）は、（２）で１～４（専門校各訓練科）と回答した事業所にお尋ねします。

（３）修了生を採用した理由を教えてください。（最大２つまで）

- | | |
|--------------------------------|-------------------|
| 1. これまでも専門校修了生を採用しているから | 2. 専門校修了生の評判が良いから |
| 3. 業務に必要な基礎知識があるから | 4. 即戦力として期待できるから |
| 5. 事業所内での技術・ノウハウの継承が円滑にできそうだから | |
| 6. 職場への定着率が高いから | 7. 資格を多く取得しているから |
| 8. その他（ | ） |

（４）専門校修了生の従業員が他の従業員と比べて優れている能力、また不足していると思われる能力について、次の中から該当するものをそれぞれ上位３つまで選び、回答欄に番号を記入してください。

- | | |
|------------------|--------------|
| 1. 基礎的な技能・技術 | 2. 高度な技能・技術 |
| 3. 就業への意識・熱意 | 4. 取得資格数 |
| 5. 忍耐力・継続力 | 6. 適応力・柔軟性 |
| 7. コミュニケーション能力 | 8. ITソフト活用能力 |
| 9. 考察力・論理的思考力 | |
| 10. その他（優れている能力： | ） |
| （不足している能力： | ） |

（回答欄：優れている能力）

1 位	2 位	3 位

（回答欄：不足している能力）

1 位	2 位	3 位

（５）専門校で今後充実してほしい訓練内容について、次の中から該当するものを上位３つまで選び、回答欄に番号を記入してください。

- | |
|------------------------------|
| 1. あいさつや片付けなど基本的な礼儀、ビジネスマナー |
| 2. 基本的な技術、技能習得 |
| 3. 応用的・専門的な技術、技能習得 |
| 4. 即戦力となるための職場体験実習（インターンシップ） |
| 5. 取得できる資格数の増加（具体的な資格名： |
| 6. エクセル・ワードなど基本的なITソフト活用能力 |
| 7. CADなどの専門的なITソフト活用能力 |
| 8. その他（訓練科名： |
| （具体的な訓練内容： |

（回答欄）

1 位	2 位	3 位

【高鍋校修了生関連】

※（６）（７）は、（２）で５、６（高鍋校建築科または塗装科）と回答した事業所にお尋ねします。

（６）今後、高鍋校修了生に求められる能力について、次の中から該当するものを上位３つまで選び、回答欄に番号を記入してください。

- | | |
|--------------|----------------|
| 1. 基礎的な技能・技術 | 2. 高度な技能・技術 |
| 3. 就業への意識・熱意 | 4. 忍耐力・継続力 |
| 5. 適応力・柔軟性 | 6. コミュニケーション能力 |
| 7. ITソフト活用能力 | 8. 考察力・論理的思考力 |
| 9. その他（ | ） |

（回答欄）

1 位	2 位	3 位

(7) 高鍋校で今後充実してほしい訓練内容について、次の中から該当するものを上位3つまで選び、回答欄に番号を記入してください。

1. 勤労の意義やそれぞれの社会的意義などの勤労観
2. あいさつや片付けなど基本的な礼儀、ビジネスマナー
3. 関連技術、技能にかかる基礎学力
4. 基本的な技術、技能習得
5. 即戦力となるための職場体験実習（インターンシップ）
6. エクセル・ワードなど基本的なITソフト活用能力
7. CADなどの専門的なITソフト活用能力
8. その他（訓練名： ）
（具体的な訓練内容： ）

(回答欄)

1 位	2 位	3 位

問5 専門校で実施している在職者訓練について、全ての方にお尋ねします。

※在職者訓練とは、在職者を対象に、仕事に必要な技能・技術・知識の向上や資格取得を目的とした職業訓練です。

※電気工事士資格試験（技能試験）や建築配管技能士（技能検定）の技能講座、クレーン運転業務に係る特別教育（5 t未満）などを実施しています。受講料は基本的には無料（ただし、テキスト等は各自で準備）で、講習は週末や平日の夜に開催しています。

(1) 専門校で在職者訓練を実施していたことを知っていましたか。また、従業員を在職者訓練に参加させたことはありますか。ひとつだけお選びください。

1. 知っており、従業員が参加したこともある
2. 知っていたが、従業員が参加したことはない
3. 知らなかった

(2) 従業員に対してどのような訓練が必要であるとお考えですか（3つまで）。

1. 各種資格の取得（技能士を除く）
2. 技能士の資格取得（技能検定）
3. 汎用工作機械操作技術
4. NC工作機械操作技術
5. 各種板金工作技術
6. 各種溶接技術
7. シーケンス自動制御技術
8. 自動車整備技術
9. 各種電気設備の保守技術
10. 建築・金属塗装技術
11. 木工、建築技術
12. 機械、建築製図技術（CAD）
13. 情報処理技術
14. 管理・監督技術
15. 簿記、経理知識
16. パソコン操作技術
17. 給排水、衛生設備、冷凍空調機器の施工・保守技術
18. その他（ ）

(3) どのような在職者訓練であれば、従業員を参加させたいとお考えですか。（複数回答可）

1. 資格取得のための対策講座（学科）（具体的な資格名： ）
2. 資格取得のための対策講座（実技）（具体的な資格名： ）
3. 技能五輪などの技能競技大会出場のための訓練（具体的な職種： ）
4. 仕事に関わりのある機器の操作研修（具体的な機器名： ）
5. エクセル、ワード等の基本的なパソコン研修
6. CADなどの専門的なパソコン研修
7. その他（具体的に ）

問6 今後、専門校及び高鍋校にどのようなことを期待しますか。（2つまで）

- | | |
|---------------------------|---|
| 1. 訓練内容の充実 | |
| 2. 新たな訓練科の設置（具体的に | ） |
| 3. 施設外訓練（委託訓練）の充実 | |
| 4. 労働者向けの技術・技能向上のための訓練の充実 | |
| 5. 施設・機器の開放 | |
| 6. 訓練指導員の派遣（技術指導等の講師として） | |
| 7. その他（具体的に | ） |
| 8. 特になし | |

問7 今後、人材育成全般に関して行政に望まれることはどのようなことですか。（3つまで）

- | | |
|---------------------------------|-------------------|
| 1. 基礎的知識を持つ技術者・技能者の養成 | |
| 2. 高度な知識を持つ技術者・技能者の養成（IT分野等を除く） | |
| 3. IT分野等の高度技術者・技能者の養成 | |
| 4. 在職者に対する教育訓練の充実 | 5. 県立産業技術専門校の充実 |
| 6. 教育訓練等に対する助成金等の支援強化 | 7. 教育訓練施設・設備の貸与 |
| 8. 職業能力検定制度の充実 | 9. 従業員の自己啓発に対する支援 |
| 10. 指導員の派遣、講師の紹介等 | 11. ものづくり継承への支援強化 |
| 12. 学校教育におけるキャリア教育の充実 | 13. その他（ |
| 14. 特になし | ） |

問8 今後の施策に対する御意見・御要望などがありましたら、御自由にお書きください。

御協力ありがとうございました。

